



グリーンから始めるインパクト評価ガイド 概要

(2021年3月 ポジティブインパクトファイナンスタスクフォース)

- 国際的にも様々な試みがある**インパクト評価**について、「インパクトファイナンスの基本的考え方」(2020年7月)を踏まえ、**国際的なイニシアティブ等を参考として一定の考え方や手法を整理したガイドを策定**。
- SDGsの達成や2050年カーボンニュートラルの実現に向け、大規模な民間資金の巻き込みを図る。

目的

- ✓ 国際的な様々なイニシアティブによって示されている考え方やツールを基に、**インパクト評価の具体的な手順を示す**
- ✓ より幅広い主体に手掛けやすいものとする事で、**明確な意図を持って環境・社会・経済にポジティブなインパクトを生み出すインパクトファイナンスの主流化を目指す**

ポイント

- ✓ **特にグリーン（環境）の側面に係るインパクト評価に焦点を当て、「インパクトファイナンスの基本的流れ」(下図)に沿って、基本的な手順を解説**
- ✓ 想定する投融資の性質ごとに相応しいツールを活用できるよう、**各イニシアティブにより示されている既存のツールの特徴と、インパクトの評価プロセスにおいてどのように活用できるかを説明**
- ✓ 評価指標の例、代表的なツール類の使い方、インパクト評価の取組事例集など**付属資料を充実**
- ✓ 単にインパクトの測定（measurement）を行うだけでなく、目的に即して適切な管理(management)を行うことが重要であるという「**IMM（Impact Measurement & Management）**」の議論とも整合





(参考) インパクトファイナンスの基本的な考え方 概要

(2020年7月 ポジティブインパクトファイナンスタスクフォース)

- ポジティブなインパクトを生む金融の確立に向け、2020年3月、ESG金融ハイレベル・パネルの下にタスクフォースを設置。
- 我が国のインパクトファイナンスの実践を促進するための「インパクトファイナンスの基本的考え方」を2020年7月に取りまとめ。

趣旨・目的

- ◆ インパクトファイナンスを、ESG金融の発展形として環境・社会・経済へのインパクトを追求するものと位置付け、大規模な民間資金を巻き込み、インパクトファイナンスを主流化していくことに狙い
- ◆ 第一歩として、まずは、大手機関投資家・金融機関等における実践の促進を目的
- ◆ 次の3つの基本的視点に基づき検討



定義

ポジティブなインパクトを生み出す意図、重大なネガティブインパクトを管理・緩和

インパクトの評価・モニタリング

インパクトの評価・モニタリング結果の情報開示

中長期的視点から金融機関・投資家にとって適切なリスク・リターンを確保しようとするもの

インパクトファイナンスの基本的な流れのイメージ





- インパクトファイナンスにおけるインパクト評価について、国際的にも様々な取組が行われている。
- 国際的なイニシアティブ等を参考に、一例として、投融資のパターンごとの手順についてイメージを提示。
※下記の流れについては、あくまで一例としてイメージを示すものであり、実際には、金融機関・投資家が投融資案件の性質等に応じて取り組むことが重要である。

A) インパクト包括型

（コーポレート、上場株式等）

B) インパクト特定型

（プロジェクト・ファンドベース等）

例えば…

UNEP FIポジティブインパクト金融原則の考え方を活用

例えば…

IMPのインパクトの5側面の考え方を活用

- ✓ 特に重大なインパクトを及ぼす領域（コア・インパクト領域）を特定

UNEP FIのインパクトリーダーや分析ツールを使用し包括的に分析

1

IMPのインパクトの5側面「何を」、「誰が」、「どの程度」、「企業の貢献度合い」、「リスク」から掘り下げ

- ✓ ポジティブインパクトの創出可能性や重大なネガティブインパクトの管理について確認

- ✓ 比較可能なKPI・目標を設定

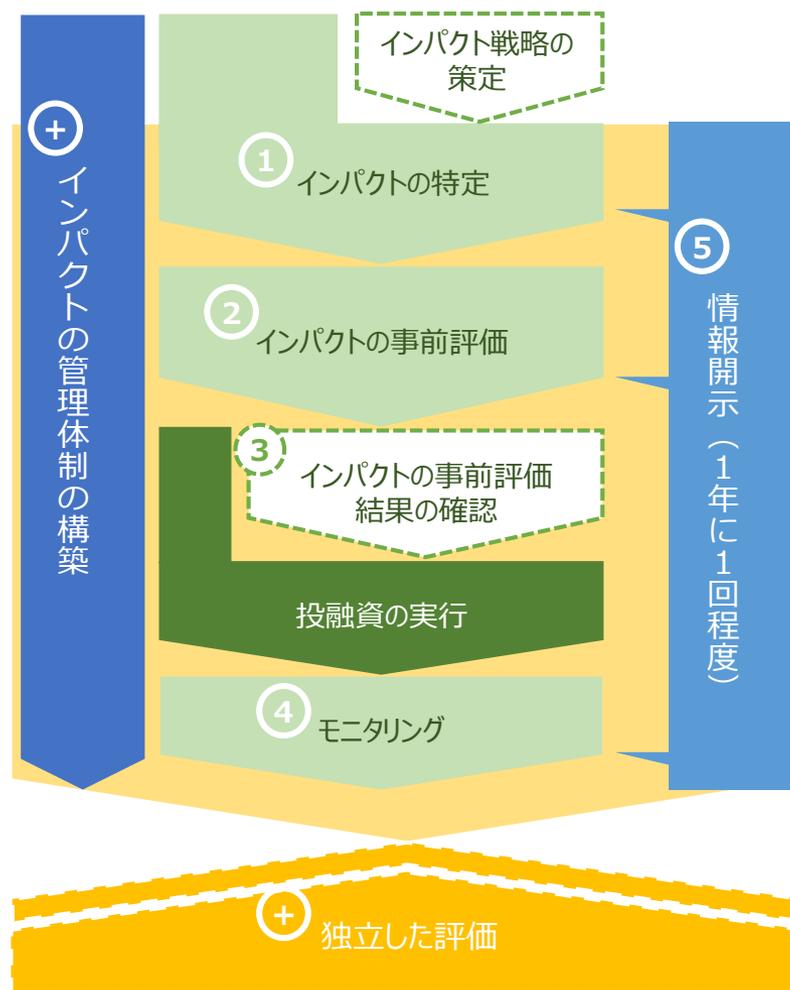
UNEP FIの考え方に基づく3分類（ポジティブインパクト/ポジティブインパクトトランジション/ポジティブインパクトに該当しない）を活用

3

IMPのインパクト評価の5分類（特に、A:害の回避、B:ステークホルダーへの恩恵、C:課題解決への貢献）を活用

- ✓ 意図したインパクトを確実に実現するため、適切な管理体制を構築
※「インパクト測定・マネジメント（Impact Measurement & Management, IMM）」の、国際的議論と整合

- ✓ インパクト評価の適切性を担保し、客観的な説明を行うため、必要に応じて独立した機関による評価を活用





「グリーンから始めるインパクト評価ガイド」より 代表的なインパクト評価ツール等の紹介

- 「グリーンから始めるインパクト評価ガイド」（2021年3月 ポジティブインパクトファイナンスタスクフォース）では、インパクト評価に役立つツール・考え方のうち、UNEP FIやIMP、GIINなどが提供する代表的なものを場合に分けて紹介。付属資料では、各ツールの使用方法を図解。

特に、コーポレートファイナンス、上場株式投資等に有効
(インパクト包括型)

特に、プロジェクトやファンドを通じたインパクト投資等に有効
(インパクト特定型)

1 インパクトの特定 に役立つツール・考え方

- ✓ **UNEP FI「インパクト・レーダー」**
…企業が関わる多様なインパクト領域を包括的に分析
- ✓ **同「コーポレートインパクト分析ツール」**
(コーポレートファイナンスを行う金融機関向け)
…企業の及ぼすインパクトの領域や大きさをマッピングし、そこからコア・インパクト領域を絞り込む

- ✓ **IMP「インパクトの5側面」**
…「何を」、「誰が」、「どの程度」、「企業の貢献度合い」、「リスク」から掘り下げ

「インパクトファイナンスの基本的考え方」の参考で示した日本のインパクトニーズマップも、コア・インパクト領域の絞り込みに活用可能



2 インパクトの事前評価 に役立つツール・考え方

- ✓ **GIIN「IRIS+」**
…①プロジェクトが関連するカテゴリ/セクター（エネルギー、農業等）とテーマ（気候等）を指定し、②そのカテゴリに紐づく戦略的目標（エネルギーへのアクセス、エネルギー効率性等、気候変動への適応）を選択すると、使用が推奨される指標が自動的に表示される ※この指標は、IMPの「インパクトの5側面」に沿って列挙

3 インパクトの事前評価結果の確認 に役立つツール・考え方

- ✓ **UNEP FIの考え方に基づく3分類（インパクトファイナンスの基本的考え方より）**
…ポジティブインパクト/ポジティブインパクトトランジション/ポジティブインパクトに該当しないの3分類を活用
- ✓ **IMP「インパクトの5分類」**
…特に、A:害の回避、B:ステークホルダーへの恩恵、C:課題解決への貢献の3分類を活用

(参考) インパクトファイナンスの普及に向けたロードマップについて

(2020年7月提示)



最終目的

全ての機関投資家・金融機関等が全てのアセットクラスにおいて、
インパクトファイナンスを実践

メイン
ターゲット

第1段階

(~2021年3月) (2021年4月以降)

第2段階

(中長期)

大手金融機関・機関投資家

地域金融機関や中小・個人
投資家への取組の波及

「インパクトファイナンスの 基本的考え方」

- ✓ 投融資タイプ全般に共通する「基本的考え方」を整理

「グリーンインパクト評価ガイド」 (仮称)

- ✓ 投融資タイプ全般に共通する「評価ガイド」を作成
- ✓ **環境**面のインパクト領域について、KPI等詳細の検討

- ✓ 投融資タイプ又は投資対象となる業種ごとの評価ガイド等の作成をニーズに応じ検討
- ✓ 普及に向けたインセンティブ等の促進策の検討

- ✓ 環境以外の側面のインパクト領域についての連携

対外発信

取りまとめの周知・普及

インパクトファイナンスの普及に向けたセミナー・シンポジウム等

タスクフォース外

- ✓ インパクトファイナンスの取組調査・支援の検討
 - ✓ 海外発信、関係者と連携
- ✓ 意欲のある地域金融機関・個人投資家への普及・連携